

治療歴のある患者に対する治療目標は、 HIV-RNA量の最大限の抑制の維持

- 忍容性が良好で、1日1回投与の強力な多剤併用ARTにより、一次治療レジメンでのウイルス学的失敗率が減少
- ARTの主要な目標は、治療期間中、ウイルス量が検出限界値未満に抑制され、その状態が維持されること
- 更なる目標は、ART関連の毒性および副作用を最小限にすること
- 強力な新規薬剤の登場により、高度耐性ウイルス感染患者に対してもレジメンの簡素化および／またはHIV-RNA量の再抑制が可能